

# 関中学校だより

目指す学校像 一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校

地域、家庭とともに歩む学校 教職員が生きがいを持って働ける学校



関中学校HPにアクセス

第29号

令和8年3月25日発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

## 令和7年度が修了します

一年間の締めくくりとなる修了式を迎えました。この一年、生徒たちは日々の授業や行事、部活動などのさまざまな場面で努力を重ね、大きく成長しました。私も、生徒や教職員と一緒に学校生活を過ごし、生徒や先生たちが頑張る様子、職員室や教室から聞こえる笑い声などを聞いて、幸せな気持ちで毎日を過ごすことができました。明日から春休みに入ります。この節目に、この一年を振り返り、新たな目標を持って次の学年への準備を進めてほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。来年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

## おらせ

### ①網戸が設置されました

今年度、PTAや学校運営協議会では、廊下側の網戸設置を要望していました。窓を開放すると虫や鳥が校内に侵入して、衛生管理上の問題がありましたが、2月に廊下側の網戸を設置していただきました。

### ②卒業生の制服リサイクルにご協力ください

本校では、在校生やこれから入学してくる生徒のために、制服のリサイクル活動を行っています。ご家庭で不要となった制服や体操服などがありましたら、ぜひ学校へお譲りいただきますようお願いいたします。リサイクルさせていただいた制服は、必要とするご家庭で大切に活用させていただきます。まだ十分に着用できるものがありましたら、ご協力いただけますと幸いです。

【回収しているもの】制服（上着、ズボン、スカートなど） 体操服

【回収方法】直接、職員室までお持ちいただくか、生徒を通じて学校へご提出ください。

※なお、制服は洗濯（クリーニング）後のものをご提供ください。

### ③来年度初めの日程（予定）について

4月8日（水）着任式、始業式、学活（11:00終了予定） ※教科書を配布します

4月9日（木）学活、入学式準備、入学式（生徒は弁当が必要）

4月10日（金）対面式、学活、地区生徒会

※4月13日（月）より給食開始

### ④来年度の部活動について【亀山市統一】

亀山市では、4月より原則、朝の部活動（朝練）は行いません。また、9月より、平日の部活動は教職員の勤務時間内となります。ご理解ご協力をお願いします。

### ⑤来年度のクラス分けについて

新1年生は1学級、新2年生は2学級、新3年生は2学級（関中学校独自少人数）とします。



# み え だいがくきょういくながくぶふぞくちゅうがっこう ほうもん 三重大学教育学部附属中学校が訪問

3月10日(火)、三重大学教育学部附属中学校の1年生の生徒が関中学校に来ました。附属中では「よりよい学校にするには」というテーマのもと、探究的な学習に取り組んでいて、亀山地域出身の生徒より「関中学校は素晴らしい学校だと聞いている」という声から、本校が選ばれたようです。附属中の生徒が関中学校に聞きたい質問に卒業生が答えてくれましたので紹介します。



## 卒業生による関中学校の説明発表原稿（一部抜粋）

- 木の校舎にはぬくもりがあり、落ち着いた雰囲気があって、安心して学校生活を送ることができます。全体的にバリアフリーとなっており、みんなが使いやすい校舎になっています。また、春には正門の桜がきれいに咲いたり、山が近くに見えたりするなど、自然が身近にあることで季節を感じられるのが良いです。でも、自然が多い分、虫も多く、窓を開けると虫が入ってくるのが欠点です。
- 学校の雰囲気や生徒の様子は、各学年少人数で、3学年の教室が横並びになっているので、交流しやすい環境があり、学年の壁がありません。また、ほとんどの生徒が幼稚園・小学校からの友人なので、みんなの絆が強いです。廊下などで他学年とお話ししているところもよく見かけます。先生方とも仲が良く、常ににぎやかで明るく、全体的に良い雰囲気です。生徒同士だけでなく、生徒と先生、先生同士も仲が良いです。
- 関の街道を模した大きな中庭がとても魅力的です。よく日が当たり、ベンチがいくつか置いてあるので、自然を感じながら友達と話ができたり、文化祭の歌練習ができたりします。時々「中庭図書館」というイベントが開かれ、にぎわっています。また、全校で集会を行うことができる多目的ホールも大きな魅力です。中庭も多目的ホールも休み時間にはたくさんの生徒が集まっています。

## 訪問後、附属中学校の生徒たちが関中学校から学んだことについて、まとめてくれました。

- ①木造建築と地域文化の融合： 関宿の街並みをイメージした外観や、県産材をふんだんに使った温かみのある校舎づくりに感動し、学校に地域の歴史や文化を取り入れることの意義を学びました。
- ②交流を生む空間づくり： 整備された中庭や、学年を超えてつながる広い廊下、開放的な多目的ホールなど、「人が自然と集まり、交流が生まれる仕掛け」が学校中に溢れている点に多くの生徒が惹きつけられました。
- ③生徒主体の学校生活と温かい雰囲気： 築15年経っても校舎がピカピカに保たれているのは、生徒一人ひとりの「学校を綺麗にしたい」という自律心によるものだと知り、大きな刺激を受けました。また、すれ違うたびに気持ちの良い挨拶をしてくれる貴校の生徒の皆さんの姿は、本校生徒の最高のお手本となりました。

私は、附属中の訪問を通して、改めて関中学校の校舎づくりや学校について考えることができました。他校の生徒が、「関中学校の生徒はあいさつができて、礼儀正しい」と感じてくれたことがとてもうれしかったです。生徒の皆さん、これからも学校を大切に使い、仲間や地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。

